

データベースマニュアル (2017.4)

Japan Knowledge Lib [ジャパン ナレッジ リブ]



Japan Knowledge Lib[ジャパン ナレッジ リブ]は、約 50 種類の辞事典、叢書、雑誌が検索できる、国内最大級の辞書・事典集合データベースです。

【基本検索】は、搭載されている辞事典を横断検索しやすいようシンプルな設定になっていますが、【詳細（個別）検索】では、各辞事典に応じたオリジナルの絞り込み機能を備え、より詳しく検索できるようになっています。言葉の意味を調べるだけではもったいない、欲しい“知識”が素早くわかります。

接続方法

■ 京都橘大学の HP からたどる

まず、Google[グーグル]やYahoo![ヤフー]で【京都橘大学】と入力検索し、京都橘大学 HP を表示します。その後、【図書館】のタブをクリックすれば、京都橘大学図書館 HP が表示されるので、画面を下部へ移動させ、【文献検索/電子コンテンツ】をクリックしてください。図書館が契約しているデータベース一覧より Japan Knowledge Lib を選んでください。

The screenshot shows the Kyoto University Library website. A green arrow points from the '図書館' (Library) tab in the top navigation bar to the '図書館' section on the right. Another green arrow points from the '文献検索 / 電子コンテンツ' (Literature Search / Electronic Contents) link in the left sidebar to the 'JapanKnowledge Lib' link in the bottom section. A third green arrow points from the 'JapanKnowledge Lib' link to the 'JapanKnowledge Lib' link in the bottom section.

京都橘大学図書館 HP のナビゲーションメニューとコンテンツ一覧のスクリーンショット。緑色の矢印は、検索手順を示しています。

- トップメニュー: 図書館 (Library)
- 左側メニュー: 文献検索 / 電子コンテンツ (Literature Search / Electronic Contents)
- 右側メニュー: 図書館 (Library)
- 下部メニュー: JapanKnowledge Lib

検索結果の表示例 (JapanKnowledge Lib):

- JapanKnowledge Lib (学内検索)
- 毎号 (毎日新聞のデータベース) (学内検索)
- 日経テレコン (日本経済新聞社) (学内検索)

基本検索

The screenshot shows the JapanKnowledge Lib search page. The interface includes a top navigation bar with '基本検索' (Basic Search) highlighted. A left sidebar contains a '検索コンテンツ' (Search Content) menu with categories like '百科' (Encyclopedia), '日本語' (Japanese), and '英語' (English). The main search area has a search box with '地震' (Earthquake) entered. Below the search box, there are filters for '見出し' (Index) and '全文' (Full Text). The search results are displayed in a list, with the first result '1. 地震' (Earthquake) highlighted. A detailed view of the '地震' entry is shown on the right, including a definition and a list of related terms.

A : 検索メニュータブ

検索機能を切り替えることができます。

搭載コンテンツすべてを使った、一括検索の場合は、**基本検索**を選びましょう。

B : 検索範囲

「見出し」と「本文」を切り替えて検索することができます。

デフォルトでは「見出し」になっています。

C : 検索ボックス

調べたいワードを入力してください。

サジェスト機能があるので、調べたいワードを入力していくと、その文字に続く候補が自動的に表示されます。(最大 10 件の候補)

D : コンテンツファセット/メディアファセット

表示された検索結果を、分野や搭載コンテンツごとに仕分け、必要な情報を絞り込むことができる機能です。

気になるコンテンツ種別をクリックすれば、具体的な辞書・事典の名称が表示されます。

E : 検索結果一覧から、閲覧したい項目をクリックすると、その項目の本文が表示されます。

本文左上部には、具体的な辞書・事典名があります。

F : 検索結果表示切り替え

The screenshot shows a dropdown menu for switching the search result display. The options are: '関連度順' (Relevance), '見出し語 昇順' (Index term Ascending), '見出し語 降順' (Index term Descending), '情報量 多い順' (Information amount Increasing), '情報量 少ない順' (Information amount Decreasing), 'コンテンツ 昇順' (Content Ascending), and 'コンテンツ 降順' (Content Descending).

ソートのデフォルトは「関連度順」になっています。

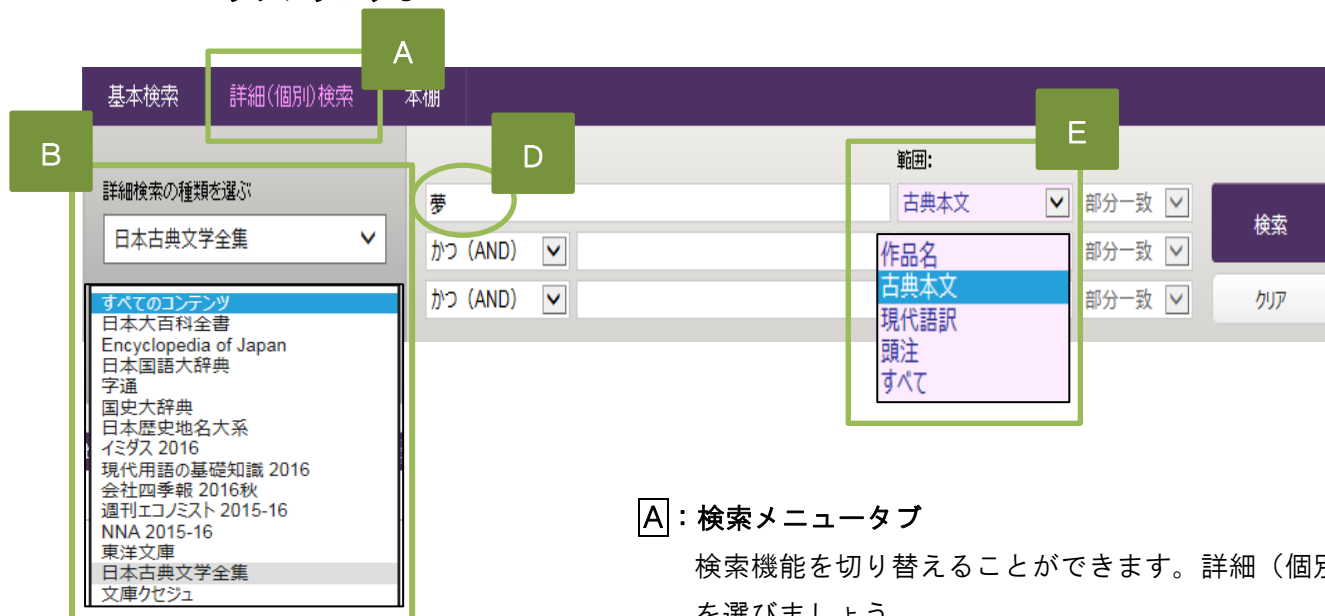
これは、検索ボックスに入力したワードと、適合性がより高い項目順に表示させるためです。

完全一致 ⇒ 前方一致 ⇒ 部分一致 の順で並んでいます。

詳細（個別）検索

ここでは、搭載されているコンテンツの内、『新編 日本古典文学全集』（小学館）の語彙検索機能を紹介します。

《例》 『新編 日本古典文学全集』に収録されている『源氏物語』の本文中にある、“夢”をピックアップする



A：検索メニュータブ

検索機能を切り替えることができます。詳細（個別）検索を選びましょう。

B：コンテンツ選択メニュー

クリックするとプルダウンメニューが展開、コンテンツを選ぶことができます。

※例題より、『日本古典文学全集』を選択します。

C：内容項目選択メニュー

実際には、Bで選んだコンテンツにより表示される内容が異なります。

『日本古典文学全集』の場合は、まず、「時代」「ジャンル」「作品名」の3つに大別されるので、自身の検索に合った項目を選びます。

※今回の例題では具体的な作品名『源氏物語』を設定しているので、「作品名」の項目から『源氏物語』を選び、クリックしてください。✓ が付くはずです。

D：検索ボックス

検索するワードを入力します。

E：検索範囲

コンテンツによって異なりますが、様々な範囲を設定することができます。

例題の『日本古典文学全集』の場合は、「作品名」「古典本文」「現代語訳」「頭注」「すべて」からえらぶことができます。

※例題では「古典本文」を選択します。



[illegible]